

アップルとMacintoshの販売提携に合意 ～ 出版・印刷マーケット向けに共同マーケティングを開始

大日本スクリーン製造株式会社(本社：京都市 / 代表取締役社長：石田明)は、8月31日、アップルコンピュータ株式会社(本社：東京都 / 代表取締役社長：原田永幸)とMacintoshの販売提携に合意し、デザイン、出版、広告、印刷業界に向けた最適なワークフロー*やECビジネスが構築できる「Macintoshフルデジタルソリューションシリーズ」を提供していきます。

この合意に基づき、大日本スクリーンはアップルの正規販売代理店となり、それぞれの業界や業態のビジネスモデルに合わせて、Macintoshを核とした最適なソリューションを開発し、供給・サポートしていきます。これにより、3年後には年間約50億円の新規市場を創造します。

このソリューションの開発をより具体的に推進していくため、大日本スクリーンとアップルは、最先端の情報を交換し共有できる環境を構築します。これにより、アップルが提供する技術、および大日本スクリーンが培ってきた画像情報処理技術、文字組版処理技術、ネットワーク技術を最大限に活用し、「Mac OS X(マックオーエステン)」における新しいプリントアーキテクチャーの概念に基づくプロフェッショナルDTPの確立、そして出版、印刷市場へより一層のMacintoshの普及に向けた技術開発に着手し、印刷工程のフルデジタル処理とECビジネスの実現に向けたRIP、サーバー、カラーマネジメント、PDFワークフロー、データベース、XML関連技術、進捗管理、素材管理、リモート校正システムなどを商品化し、オンデマンド出版、パーソナライズ出版、電子出版などの市場へソリューションを提供します。

両社の協力関係については、2000年2月、大日本スクリーンのデジタルフォント「ヒラギノ」の「Mac OS X」日本語版への標準搭載に関してライセンス契約を締結し、コンシューマからパブリッシングプロフェッショナルまでのすべてのユーザーが表現力豊かで多彩な日本語フォントを利用できる取り組みをスタートしています。これにより、パブリッシングプロフェッショナルに広く活用されているMac OSの次期バージョンは、DTP業界の最新の拡張文字を含め、最大17,000の文字数を業界で初めて標準搭載し、より広範囲なMacintoshの普及とともに、日本のDTPビジネスシーンをリードしていきます。

このフォントに関するライセンス契約に続く今回の販売提携で、両社はより強力な協業を展開していきます。

*ワークフロー：作業工程の流れを意味する。印刷工程においては、納期短縮や作業効率の向上を目指してワークフローのデジタル化がキーファクターになっている。

< 報道各位からのお問い合わせ先 >

大日本スクリーン製造株式会社 広報室
Tel : 075-414-7131

アップルコンピュータ株式会社 広報
Tel : 03-5334-2430
<http://www.apple.co.jp/prweb/>
e-mail : press@prweb.apple.co.jp

< 紙面掲載の場合の読者からのお問い合わせ先 >

大日本スクリーン製造株式会社
グラフィックアーツ事業本部
マーケティング部(近野)
Tel : 075-417-2685